

# 「下水道の日」 特集

# 下水道への紙オムツ受け入れ

# ～下水道の付加価値を高める取り組み～

# 生活の質の向上と環境負荷低減に効果



駒沢女子大学 人間総合学群住空間デザイン学類 特任教授 (シトラス代表)

## 橋田 洋子

下水道への紙オムツ受け入れが求められる背景

少子高齢化を背景に「排泄」という誰もが毎日行っている行為のコントロールについて、さまざまな場面で議論話題になってきています。排泄は人間の尊厳にかかわるため、まだまだ多くの実態や問題があまり表に出ないままになっていま

## 超高齢社会を支えるシステムに期待

私自身がこの問題に切実に感じていたのは、102歳で亡くなった祖母の晩年の日々でした。気丈でスマート、100歳になるまで自立し、外出もしていた祖母でしたが、その裏では毎日排泄との戦いで流し何度となく配管を詰まらせる、パンツ型の場合は洗濯機で洗ってしまつのは日常茶飯事、無事ごみに出せるとなっ

者の方々に会う機会を得、情報交換をしてみらると、下水道というインフラが今大きな転換期にきていることを初めて知ることになりました。これは業界を超え、横断的に下水道の未来を検討していくことが急務であり、「排泄をまずはキーワードの一つとして考えていくことになりました。それが「下水道・LIFE・えんじん研究会」です。この検討会は、住宅・トイレ・下水道およびその関連設備など暮らしを支える仕事に関わる女性たちが集まり、住まい十下

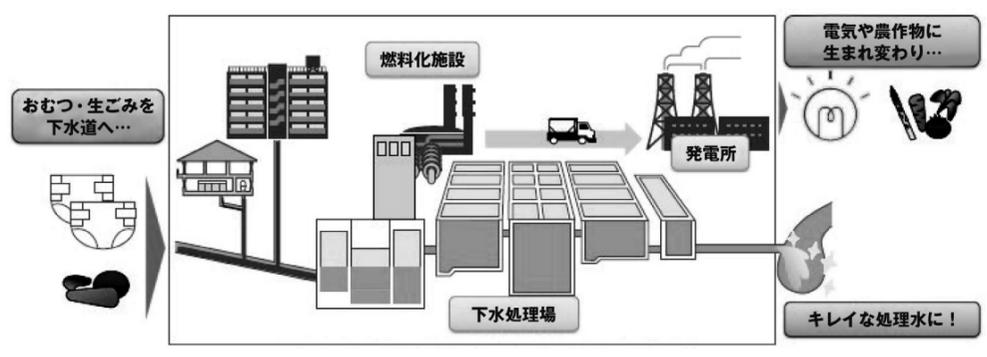


図1 下水道・LIFE・えんじんシステムのイメージ

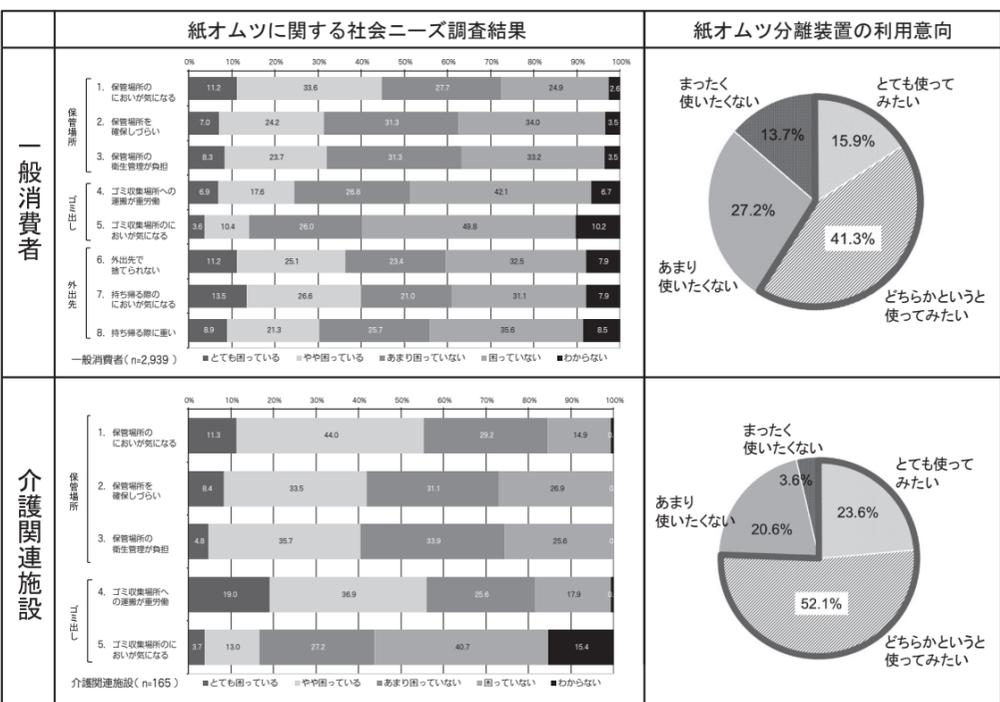


図2 紙オムツに関する社会ニーズ調査の結果など

出典：国土交通省「下水道への紙オムツ受入実現に向けた検討会」(2019年2月8日) 資料より

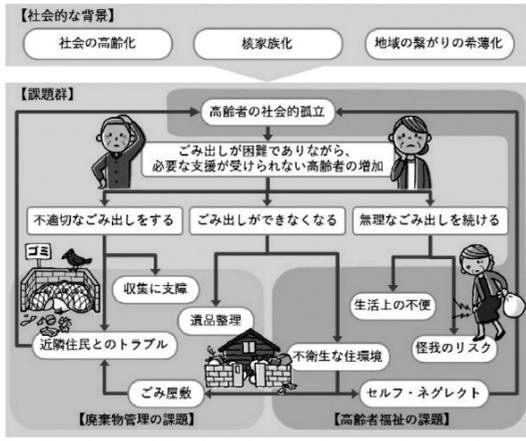


図4 高齢者のごみ出しを巡る課題

出典：国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター「高齢者ごみ出し支援ガイドブック」(2017年5月) より



図3 紙オムツ処理の現状イメージ

出典：国土交通省「下水道への紙オムツ受入実現に向けた検討会」(2019年2月8日) 資料より

持管理といった経済効果も期待できるかもしれませんが、下水道への紙オムツ受け入れのための機器類の設置を考慮した空間性やより臭気や汚物処理のしやすいトイレ空間ユニットや自動洗浄トイレなど、今まで存在していなかった新しい装置の開発が急務です。技術力のある多くの企業が検討開発に参入してくれることを期待しています。国土交通省では17年度、下水道への紙オムツ受け入れに向けた検討ロードマップを作成、最終的には分別しないタイプの条件整理まで行い、22年にはガイドラインの作成に向けて多角的な検討も進めています。